

(6) もうすぐ大人の歯がはえてきます 【5歳頃～】

5～6歳になると、そろそろ永久歯がはえ始めます。最初にはえるのが“中切歯”や“6歳臼歯”と呼ばれる永久歯です。

中切歯は乳前歯（乳歯の前歯）の後ろにはえてきます。歯の先がチューリップの花のようになって出てくるのですぐわかります。

6歳臼歯は乳臼歯（乳歯の奥歯）の奥にはえてくるので、見落としたり、大人の歯だと気づかない場合があります。

しかし、6歳臼歯は大人の歯のなかでも特に大切な歯なので注意しましょう。

◆ 乳歯を大切にしよう！！

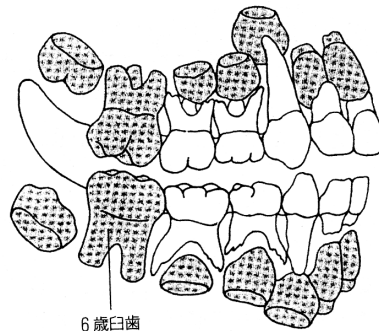
* 乳歯が永久歯とはえ変わる場合

乳歯をひどいむし歯にし、早いうちに抜いてしまうとその隣にはえている歯は抜けた方へ移動するので、今から出る永久歯がはえてくれません。

乳歯が神経までダメになるようなむし歯になると、根が溶けないで残ることがあります。すると永久歯は邪魔な乳歯を避けてはえるので斜めに出てきます。

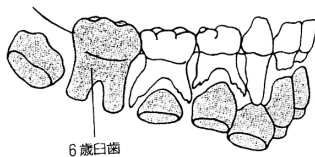
このように、乳歯のむし歯によって必要以上に早く抜いたり、長くはえていることで、歯ならびを悪くする原因になります。

正しい歯ならびは噛む能力を高め、正しい発音を助け、顎やバランスのよい顔の発育・発達を促します。



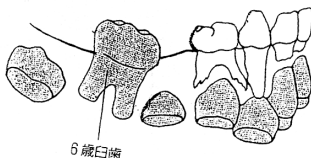
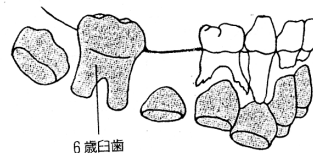
◆ 6歳臼歯がはえる場合

6歳臼歯は乳臼歯を目印に正しい位置へはえてきますが、この目印がなくなってしまうと、永久歯全体の歯ならびを狂わせてしまいます。



* 6歳臼歯はふつう乳歯の一番奥の歯の後ろにはえてきます。

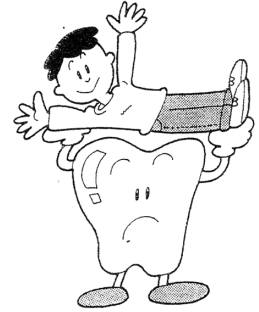
* ところが、この乳臼歯をひどいむし歯にし、早くなくしてしまうと



* 6歳臼歯は正常な位置よりも前にはえてきます。

◆ 6歳臼歯の特徴

- * 歯ならびや噛み合わせの基本となる歯。
- * 永久歯のなかで一番大きく、ものを噛む力が最も強い歯。
- * とてもむし歯になりやすい歯。

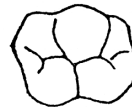


むし歯になりやすいわけ

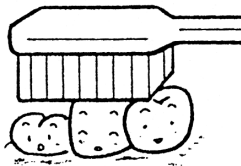
- ・ 乳歯の一番奥にはえてくるので気づきにくい。



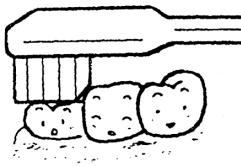
- ・ 完全にはえるまでに時間がかかるので、歯みがきがしにくい。
- ・ 噛む面がデコボコしているので、食べかすがたまりやすい。



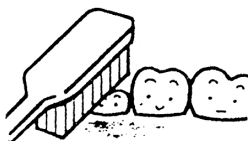
◆ 6歳臼歯のみがき方



- * はえてくる途中は他の歯より低いいため、歯ブラシの毛先が届かない。



- * 小さめの歯ブラシを使い、6歳臼歯は一本ずつみがきます。



- * 歯と歯の間や6歳臼歯は、横からみがくと効果的。